

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2 単位
対象学年	第 1 学年				
授業担当者					
使用教科書	新数学 A 東京書籍	副教材	ニューファースト新数学 A 東京書籍		
スクーリング	必要出席時間数	2 単位×1 =2 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。		
レポート	必要提出枚数	2 単位×3 =6 枚			
期末試験	合格得点目標	平均点の半分 以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件		

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>数学は何千年もの年月を経て発展し、現在でも活発に研究され進化している。普段の生活の場面で、その数学の知識や技能を身に付ける能力を養う。</p>	<p>場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動を学び、世界共通の表し方と記法を身に付け、これらを用いて論証を進める能力を養う。</p>	<p>教科書の例や例題の内容を理解し、解法の書き方を覚え、それに沿って練習問題で自分の解答を作る能力を養い、学んだ事を人に説明する力を付ける。</p>

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (切 期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	確率(1)場合の数	○				○	○		3
	(2)順列と組合せ	○	○□			○	○	○	3
5	(3)事象と確率	○	○□		No. 1→5/17	○	○	○	5
	(4)余事象の確率公式	○	○□			○	○	○	5
6	(5)独立試行・反復試行	○□	○□		No. 2→6/28	○	○	○	4
7	(6)確率分布と期待値	○□	○□		No. 3→7/12	○	○	○	3
8	前期期末考査対策	○							2
9	前期期末考査			○□		○	○	○	1
	図形(1)平面図形と多角形	○	○□			○	○	○	3
	(2)基本的図形の作図	○	○□						1
10	(3)基本的図形の作図	○	○□		No. 4→10/18	○	○	○	2
	(4)三角形と比の性質	○	○□						
11	(5)三角形の外心と内心	○□	○□		No. 5→11/29	○	○	○	3
	(6)円周角の定理	○□	○□			○			3
12	(7)接弦定理と方巾の定理	○□	○□		No. 6→12/13	○			3
1	期末試験対策	○□				○	○	○	2
2	後期期末試験(1,2年)	○		○□		○	○	○	1
	(8)2つの円					○	○		1
3	1年間の総復習	○				○	○	○	3

